

事業計画書

事業名	わたらいクリーニングコミュニティスペース事業
実施場所	沼津市高島町28-15
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載して下さい。 2020年 4月 1日 ~ 2020年 10月 31日

◎事業概要

※事業の概要を100~200字で簡潔に記載して下さい(事業の紹介などで使用します)。

沼津駅北口の商店街の一角にある、元クリーニング屋を活用し、コミュニティスペースとして整備し、若い人たちがまちなかに来るきっかけを与え、周辺店舗との若い人たちを繋げる場及び観光拠点をつくる。また、平日昼間に地域の方が利用できるシェアキッチンを行うことで、地域コミュニティの再生を行う。

◎目的

※何を目的として実施する事業であるか(事業を行うきっかけ(地域の問題点や課題、社会背景など)や、課題解決のためにどんなことが必要と考えるか)を記載して下さい。

沼津駅周辺では、以前のように魅力ある商店が減ってしまっている。インターネットの普及や郊外大型商業施設により、まちなかでの購買意欲がなくなっているため、まちなかでのコト消費ができる場を作ること、まちなかから離れてしまっている若者を増やす。また、商店街の昼間の人が集まる場所をつくり、地域コミュニティの再生に取り組む。

◎実施内容

日 程	実施項目・作業項目
4月	※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。 着工 完成 運営開始
6月	
7月	

◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載して下さい。

ららぽーと沼津をはじめ、郊外店舗の立地により、郊外へ人の流れができてしまっている。商店街等、中心市街地の魅力として、交流(コミュニティ等)によるまちなかの魅力があげられる。まちなかに人が交流し、沼津駅周辺が楽しい場所と感じられる空間、地域コミュニティの再生を図っていきたい。

成果指標	※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定して下さい。	指標の 検証方法	※左記指標の検証方法を記載して下さい。
	コミュニティスペース利用者数 シェアキッチン利用者数		

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

<p>公益性 ・ 必要性</p>	<p>※公益性：地域のまちづくりの推進に如何に寄与できるのか、不特定多数の市民の利益にどうつながるのか等について記載して下さい。 ※必要性：事業を実施する意義や、本ファンドによる助成が有益で質の高い事業展開につながる理由を記載して下さい。 スペースの一部を開放することで、無料で施設を一部利用でき、まちの休憩場として利用できる。また、キッチンを開放しシェアキッチンとすることで、商店街における地域コミュニティの再生に取り組む。コミュニティスペースに、沼津の観光パンフレット等を置くことで、中心市街地の魅力の発信はもちろんのこと、郊外部の魅力も発信することができる。特に、商店街の中にあるので、飲食店や店舗など中心市街地の情報を発信することで、商店街の活性化にも寄与する。</p>
<p>地域性</p>	<p>※地域の実状と課題をどう捉え、事業を行うことによってどのように課題を解決するのか、また、地域の特性や地域資源をどのように活かしたか、などについて記載して下さい。 店先に野菜販売やシェアキッチンを行うことで、商店街でのコミュニティ再生に努めることができる。また、駄菓子等を置き、子供も利用しやすいスペースとすることで、多岐にわたる年代のコミュニティの構築を行う。</p>
<p>先導性</p>	<p>※事業の新規性や独自性など、新たにチャレンジする点、工夫した点などについて記載して下さい。 元クリーニング屋であるため、クリーニングで使用していた機材等を再利用し、店舗のインテリアとして活用する。 奥のコミュニティスペースを中庭空間のように屋根の一部を撤去することで、まちなかにおけるポケットパークのような空間をつくり、居心地の良さを演出する。</p>
<p>発展性 ・ 継続性</p>	<p>※発展性：活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。 ※継続性：本ファンドによる助成終了後も継続的・自立的な活動とするために、事業実施体制や活動資金の確保などにより取り組んでいくのかについて記載して下さい。 コミュニティスペースを整備したあと、外部からの人を受け入れるためにゲストハウスを開業するなどを予定している。地域と外部の人のコミュニティ構築が可能となることから、内部の交流から外部との交流に発展させ、より中心市街地の活性化へつなげることができる。</p>
<p>実現性 ・ 妥当性</p>	<p>※実現性：事業目的と事業内容は合致しているか、実現のために事業内容、予算の積算、自己資金の準備、スケジュール等について工夫した点を記載して下さい。 ※妥当性：各種法令順守、関係者との調整状況、費用に対する事業効果の妥当性について記載して下さい。 既存建物を利用し整備するので、先行投資が少額であるため、実現性が高い。また、当社は、宿泊事業や転貸事業等により借入れを起さずに本事業を行うことができる。また、既にやっている事業動線を繋げることで更なる効果が期待できる。</p>
<p>活動に対する熱意</p>	<p>※活動の動機、活動に対する意欲・熱意について記載して下さい。 高齢化等により、遊休不動産が増えているため、遊休不動産を資源と捉え、地域コミュニティの再生の積み重ねで、まちににぎわいに寄与できるようにしたい。</p>

◎次年度以降の活動予定

<p>※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載して下さい（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。</p>
--